

科目名		住宅計画演習			
担当教員		熊谷貴子	実務授業の有無	○	
対象学科	建築大工科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	建築計画の基本を学び、住宅の基本的な計画手法を実習により習得する				
学習目標 (到達目標)	建築計画に必要な基本寸法や手順を学び、住宅の基本計画を作成する				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	○図解すまいの寸法計画辞典」彰国社 ○エスキス用紙 ○配布資料 ●製図用シャープ 0.7mm (芯はB推奨) ●A4サイズの方眼ノート(目盛5mm)●マーカーペン (イエローとピンク)				
NO.	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	建築計画の基本 建築計画とは 寸法計画の基本		建築物の計画手順、メートル法と尺貫法を学ぶ 建築の寸法計画と、基本の「長さ」・「広さ」を学ぶ		
2	室計画の基本と寸法計画		建築計画に必要な人体寸法・動作空間を学ぶ 動作に必要な単位空間から、室の計画寸法を学ぶ		
3	課題演習 エスキストレーニング		エスキスのトレースから住宅計画の要素を学ぶ		
4	課題提出1		期限内に課題を完成させ提出する		
5	課題演習 1.条件・要望の読み取り 2.敷地・周辺環境の把握		設計条件・要望・敷地・道路・隣地・方位から、 建築物の規模・配置・人と車の出入りを検討する		
6	3.ゾーニングと動線計画 4.各室計画		基本のゾーニングで主要室と要求室を配置し、 動線を考え、開口部・設備・家具を配置し、寸法を記入する		
7	5.エスキスマとめ 6.エスキスチェック		構造・立面・屋根形状・外構を計画し 条件・要望に対応しているか課題文を再度チェックする		
8	課題提出2		期限内に課題を完成させ提出する		
9	課題演習		課題条件を読み取り、各自エスキスを作成する		
10	課題提出3		期限内に課題を完成させ提出する		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題提出1	課題提出2	課題提出3		2級建築士試験の設計製図に対応できる知識を身につけましょ う	
20 %	30 %	50 %	%		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		設計業務、インテリアコーディネーターとして8年実務に携わる			